

こんにちは!

村立東海病院



在宅への復帰を支援します!「地域包括ケア病棟」

村立東海病院では、平成27年度から「地域包括ケア病棟」を運営しています。

高齢となり介護が必要になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域包括ケア病棟では急性期治療を経過した患者さんや在宅で療養している患者さんを受け入れ、リハビリテーション等を行い、在宅への復帰を支援しています。

患者さんやご家族の思いに寄り添ったリハビリテーションを心掛けています

リハビリ室だけでなく、病棟でも積極的に訓練を行っています。患者さんやご家族の希望・要望を取り入れながら、自宅や地域に戻った時の生活をイメージしながら訓練できるよう心掛けています。

一人ひとりに合った治療プログラムの作成

理学療法士と作業療法士が、患者さんの自宅復帰や社会復帰に向けて、一人ひとりの状態に合わせた治療プログラムを作成しています。このプログラムをもとに、運動機能の向上と、基本動作(起き上がる・立ち上がる・歩く等)能力や日常生活動作の改善を目指して、治療や訓練を行っています。



【階段昇降訓練の様子】

全スタッフで患者さんを支える体制づくり

医師を中心に看護師、介護福祉士、医療ソーシャルワーカーが定期的に情報共有を行うことで、全スタッフが患者さんを支える体制を整えています。

大切にしているのは「患者さんとの対話」

患者さんが安全に、安心して入院前の生活に戻れるよう、福祉用具や補装具、住宅改修等の話を聞き、共に考えます。治療や訓練の話だけでなく、退院後の生活についても一緒に考えます。

リハビリテーション以外の時間も充実しています

リハビリテーション以外にも、看護師や介護福祉士と共に、理学療法士や作業療法士が立案した筋力トレーニングや歩行練習を行うことで、機能回復や活動性が向上できるよう努めています。

楽しく歩行練習

病棟の廊下には、一日に歩いた距離が計算しやすいよう、歩くコースの距離が表示されています。また、リハビリ室のすぐ脇にあるリハビリパークでは、緑に囲まれながら、リラックスして屋外歩行練習ができます。



【リハビリパークでの歩行練習の様子】

春から夏にかけては、廊下の先に見える非常階段でツバメが巣を作り、子育てをします。その姿は歩行練習中の癒しにつながり、頑張って巣立つひなたちに励まされる方もいます。

リハビリを交えたレクリエーション

月に一度、介護福祉士と理学療法士、作業療法士が協働して、リハビリの要素を取り入れたレクリエーションリハビリを行っています。

野菜の苗植えや収穫、季節の行事(七夕・お月見等)、全身体操や脳トレなどを通して、生活リズムの調整や運動習慣の定着はもちろん、季節感を感じられるような取り組みも行っています。



【野菜の収穫】

リハビリテーション室 理学療法士 須田 良平

【問い合わせ】村立東海病院(☎282-2188)、福祉総務課地域医療担当(☎287-0848)